



## 秋季全国火災予防運動が始まります！

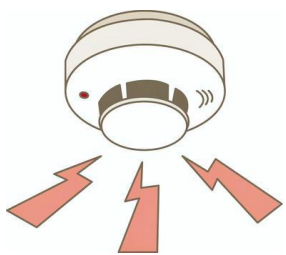
秋季火災予防運動が、今年も11月9日～15日までの7日間実施されます。

火災が発生しやすい時期を迎え、暖房器具を使用する機会が多くなることから、火災予防思想の一層の普及を図ることにより、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的としています。

(岩手町では今年に入ってから3件火災が発生しています。10月25日現在)

### 住宅用火災警報器

## 10年を目安に 取り替えましょう!!



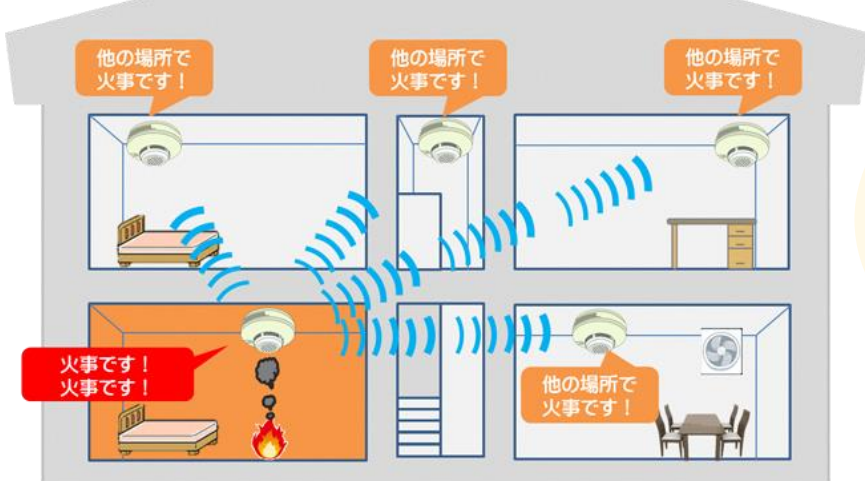
家族を守る強い味方も  
鳴らないと  
意味がありません！



住宅用火災警報器は、設置から10年を経過すると内部の部品が劣化して、正常に動かなくなるおそれがあるため、本体の交換が望ましいとされています。

住宅用火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」または本体に記載されている「製造年」を確認しましょう。

### 連動型住宅用火災警報器イメージ



火災の早期発見につながる！

**連動型の  
住宅用火災警報器が  
おすすめです!!**

New

Old



問い合わせ先

岩手町婦人消防協力隊(岩手町役場総務課 防災交通係)

(電話 0195-62-2111(内線208) FAX 0195-62-3104)

裏面もあります。

# 非常時の準備はできていますか？



災害はいつ襲ってくるか分かりません。  
被害を最小限に食い止めるには、日頃からの準備が大切です。

## ● 非常持出袋を用意しましょう！

非常持出袋を用意して、非常持出品を中に詰めておきましょう。  
非常持出袋には、両手の空くりュックサックなどが便利です。  
中身の重さは、成人男性で15kg、成人女性で10kg程度が  
適当だと言われています。



## ● 非常持出品のチェックリストを準備しておきましょう！

自分や家族の状況に応じて必要なものは変わってきます。世帯事情などに応じたオリジナルのチェックリストを作成し、必要なものは備えておきましょう。

(例) 非常時持出袋に入れておく物

<p><input type="checkbox"/> 飲料水</p> <p>重くなりすぎないように、最低限 (500ml ペットボトル2～3本程度)</p>	<p><input type="checkbox"/> 非常食</p> <p>食べやすく、 保存期間が長く、 調理せずに食べられるもの</p>	<p><input type="checkbox"/> 貴重品</p> <p>現金 (公衆電話用に10円玉)・ 通帳・印鑑・健康保険証・ 免許証の写しなど</p>	<p><input type="checkbox"/> 救急用品・医療品 感染防止品</p> <p>消毒薬・包帯・三角巾 マスク・体温計・スリッパなど</p>
---	---	---	---

# 家族で防災について話し合いましょう

実際に地震や風水害、火災が発生したときのことを想定して、各自ですべきことや避難場所、連絡方法などを家族で話し合っておきましょう。  
月に1回程度、定期的に繰り返しておけば安心です。

## ● 家族で役割分担を決めておきましょう

いざという時に「誰が」、「何を」するのか、災害時の家族の役割分担を決めておくと慌てずに全員が行動できるでしょう。



### 役割分担の例

事前の役割	実施者
非常持出品の定期点検	母
家の危険箇所のチェック	父

発災直後の役割	実施者
地震時の避難口の確保	父
避難時の火元の確認	母
非常持出品の用意	子
初期消火	父